

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 1 日 (2014.5.1)

【公開番号】特開 2011-212432 (P2011-212432A)

【公開日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2011-043

【出願番号】特願 2011-56784 (P2011-56784)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

G 0 1 N 21/17 6 3 0

G 0 1 N 21/17 6 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 13 日 (2014.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源部から出射された光束を測定光束と参照光束に分け、前記測定光束を被検眼に向けて照射し、前記被検眼で反射した前記測定光束と、前記参照光束と、が合成された干渉光を受光素子によって受光し、前記受光素子から出力される受光信号を処理して、被検眼の断層像を取得する眼科撮影装置であって、

前記光源部は、

被検眼の眼底断層像を得るために設けられた第 1 波長光を発生する第 1 の光源と、

被検眼の前眼部断層像を得るために設けられた第 2 波長光を発生する第 2 の光源と、を有し、

前記第 1 の光源を制御し、前記第 1 の光源による第 1 波長光を用いて被検眼の眼底断層像を取得する一方、前記第 2 の光源を制御し、前記第 2 の光源による第 2 波長光を用いて被検眼の前眼部断層像を取得する制御手段を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 2】

光源から出射された光束を測定光束と参照光束に分け、前記測定光束を被検眼に向けて照射し、前記被検眼で反射した前記測定光束と、前記参照光束と、が合成された干渉光を受光素子によって受光し、前記受光素子から出力される受光信号を処理して、被検眼の断層像を取得する眼科撮影装置であって、

第 1 波長光を発生する第 1 の光源を制御し、前記第 1 波長光を用いて被検眼の眼底断層像を取得する一方、前記第 1 波長光とは異なる波長の光である第 2 波長光を発生する第 2 の光源を制御し、前記第 2 波長光を用いて被検眼の前眼部断層像を取得する制御手段を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の眼科撮影装置において、

前記第 1 の光源は、 $\lambda = 800 \sim 1100 \text{ nm}$ の間に中心波長を持つ波長帯域において時間的に波長を走査する第 1 の波長走査型光源であって、

前記第 2 の光源は、 $\lambda = 1200$ 以上に中心波長を持つ波長帯域において時間的に波長

を走査する第 2 の波長走査型光源であることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼科撮影装置において、

前記第 1 波長光を出射するためのレーザ発振の第 1 共振器と、

前記第 1 共振器内に設けられ、発振する波長に利得を有する第 1 ゲイン媒体と、

前記第 2 波長光を出射するためのレーザ発振の第 2 共振器と、

前記第 2 共振器内に設けられ、発振する波長に利得を有する第 2 ゲイン媒体と、

前記第 1 共振器及び前記第 2 共振器の両共振器内に配置され、選択波長を連続的に可変する波長可変光フィルタと、を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 本開示の第 1 態様に係る眼科撮影装置は、光源部から出射された光束を測定光束と参照光束に分け、前記測定光束を被検眼に向けて照射し、前記被検眼で反射した前記測定光束と、前記参照光束と、が合成された干渉光を受光素子によって受光し、前記受光素子から出力される受光信号を処理して、被検眼の断層像を取得する眼科撮影装置であって、前記光源部は、被検眼の眼底断層像を得るために設けられた第 1 波長光を発生する第 1 の光源と、被検眼の前眼部断層像を得るために設けられた第 2 波長光を発生する第 2 の光源と、を有し、前記第 1 の光源を制御し、前記第 1 の光源による第 1 波長光を用いて被検眼の眼底断層像を取得する一方、前記第 2 の光源を制御し、前記第 2 の光源による第 2 波長光を用いて被検眼の前眼部断層像を取得する制御手段を備えることを特徴とする。

(2) 本開示の第 2 態様に係る眼科撮影装置は、光源から出射された光束を測定光束と参照光束に分け、前記測定光束を被検眼に向けて照射し、前記被検眼で反射した前記測定光束と、前記参照光束と、が合成された干渉光を受光素子によって受光し、前記受光素子から出力される受光信号を処理して、被検眼の断層像を取得する眼科撮影装置であって、

第 1 波長光を発生する第 1 の光源を制御し、前記第 1 波長光を用いて被検眼の眼底断層像を取得する一方、前記第 1 波長光とは異なる波長の光である第 2 波長光を発生する第 2 の光源を制御し、前記第 2 波長光を用いて被検眼の前眼部断層像を取得する制御手段を備えることを特徴とする。